

メジャーセブンのマンショントレンド調査 Vol.31

2020年2月27日発表

住友不動産株式会社
株式会社 大京
東急不動産株式会社
東京建物株式会社
野村不動産株式会社
三井不動産レジデンシャル株式会社
三菱地所レジデンス株式会社
(五十音順)

マンション購入意向者に聞く、新築分譲マンション購入に際しての意識調査(2019年度)

マンション購入検討理由は、依然として、「資産を持ちたい・資産として有利だと思った」「もっと交通の便の良いところに住みたい」「もっと広い住まいに住みたい」が上位

お金をかけてでもこだわりたいポイントの中でも“どうしても妥協できないポイント”は「駅から近い」「日照・採光が良い」「耐震性が高い」「災害(台風、水害など)に強い」など

“どうしても妥協できないポイント”について今回調査と5年前の調査を比較すると「災害(台風、水害など)に強い」「資産価値の高いエリアである」といった項目が大きく上昇

～新築マンションポータルサイト「MAJOR7」第31回マンショントレンド調査～

新築マンションポータルサイトMAJOR7(メジャーセブンは住友不動産・大京・東急不動産・東京建物・野村不動産・三井不動産レジデンシャル・三菱地所レジデンスの7社～五十音順)では、このたび全国のマンション購入意向者約77万人を対象に、「新築分譲マンション購入意向者アンケート」を実施いたしました。その結果をまとめましたので、ご報告いたします。

【主な調査結果】

1. [現在マンション購入を検討している理由]

マンション購入検討理由は、「資産を持ちたい・資産として有利だと思った」「もっと交通の便の良いところに住みたい」「もっと広い住まいに住みたい」が前回同様トップ3。

「都心に住みたい」「持ち家の方が住まいの質が良いと思う」「セカンドハウスが欲しい」などが前回より上昇。(→3ページ)

2. [理想とするマンションのタイプ]

理想とするマンションのタイプも前回と同様、「信頼できる不動産会社が分譲」「信頼できる建設会社が施工」「管理会社が信頼できる」がトップ3。上位9位までが前回と同じ順位となる。(→4ページ)

3. [お金をかけてでもこだわりたいポイントの中でも“どうしても妥協できない”ポイント]

お金をかけてでもこだわりたいポイントの中でも“どうしても妥協できない”ポイントは、「駅から近い」「日照や採光が良い」「免震構造など、耐震性が高い」「災害(台風、水害など)に強い」が上位にあがる。(→5ページ)

4. [“どうしても妥協できない”ポイント 今回調査と5年前調査の結果比較]

トップ3は、今回調査・5年前の調査ともに「駅から近い」「日照や採光が良い」「耐震性が高い」があがる。5年前調査より今回調査の方の順位が大きく上昇した項目は「災害(台風、水害など)に強い」「資産価値の高いエリアである」があがる。(→6ページ)

メジャーセブンのマンショントレンド調査 Vol.31

住友不動産株式会社、株式会社大京、東急不動産株式会社、東京建物株式会社、野村不動産株式会社、三井不動産レジデンシャル株式会社、三菱地所レジデンス株式会社の不動産大手7社は共同で、豊富な新築マンション販売情報とマンション選びに役立つ様々な関連情報を提供する新築マンションポータルサイト『MAJOR7』(<http://www.major7.net/>)を2000年4月に開設し、多くのお客さまにご利用いただいております。

MAJOR7を運営する不動産大手7社の新築分譲マンションは、全国のマンション供給戸数の27.45% (2019年) を占めており、その7社の全国を網羅した豊富かつ詳細なマンション販売情報を、MAJOR7ではサイト上でリアルタイムに提供しております。他業種をみても、同業大手が共同でお客さまに有益な情報を提供している例は珍しく、サイトの年間閲覧数は400万PVを超えています。

～新築マンションポータルサイト「MAJOR7」マンショントレンド調査～

マンショントレンド調査は、MAJOR7参加各企業の新築マンション購入意向のインターネット会員 (2019年12月時点 約77万人) を対象としたもので、お客さまにとってマンショントレンドを把握できる一助になればと考えております。調査結果については、MAJOR7サイト内での公開をしております。

今後もこのようなユーザーニーズ調査を実施し、お客さまのマンション選びに有益な情報提供をまいります。

■調査概要

【調査対象】

MAJOR7を運営する参加7社の新築マンション購入意向のインターネット会員のうち、アンケートに回答頂いた方

【調査方法】

MAJOR7各社のインターネット会員に対してメールにてアンケートの告知をし、WEBサイトに用意したアンケートフォームに誘導

【集計数】

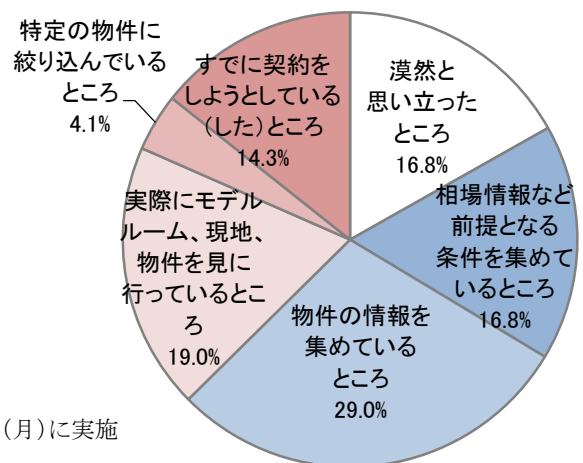
2,230 人 (男性 1,545 人、女性 685 人)
回答者のうち、重複回答を排除
20歳以上の回答のみ集計

【調査時期】

2019年12月16日 (月) ～ 2019年12月30日 (月)

* 前回のアンケートは2018年12月11日 (火) ～ 2018年12月24日 (月) に実施

<回答者のマンション購入行動段階> (2,230人)



メジャーセブンのマンショントレンド調査 Vol.31

1. マンション購入検討理由は、前回同様「資産を持ちたい・資産として有利だと思った」「もっと交通の便の良いところに住みたい」「もっと広い住まいに住みたい」がトップ3。

「都心に住みたい」「持ち家の方が住まいの質が良いと思う」「セカンドハウスが欲しい」などが前回より上昇。

「現在マンション購入を検討している理由」は、前回調査(2019年2月発表)と同様、「資産を持ちたい・資産として有利だと思ったから」22.6%、「もっと交通の便の良いところに住みたいから」19.1%、「もっと広い住まいに住みたいから」17.7%がトップ3に挙げられ、依然として、資産価値、交通の便、広さがマンション購入検討理由の主要素となっていることがうかがえます。

その他の項目をみると、「都心に住みたいから」(6位→4位)、「持ち家の方が住まいの質が良いと思うから」(13位→12位)、「セカンドハウスが欲しいから」(18位→15位)などの理由が前回調査より順位を上げています。

＜現在マンション購入を検討している理由＞

【今回調査(2020年2月発表)】

回答 2,230人

順位		(%)
1	資産を持ちたい・資産として有利だと思ったから	22.6
2	もっと交通の便の良いところに住みたいから	19.1
3	もっと広い住まいに住みたいから	17.7
4	都心に住みたいから	15.8
5	老後の安心のため、住まいを持ちたいと思うから	15.6
6	通勤に便利な場所に住みたいから	15.0
7	賃貸より持ち家の方が、金銭的に得だと思うから	14.3
8	現在は金利が低く、買い時だと思うから	13.5
9	家の設備が古くなってきたから	12.6
10	魅力的な物件や物件広告を見たから	11.8
11	免震構造のような耐震性の高いところに住みたいから	10.1
12	持ち家の方が住まいの質が良いと思うから	10.0
13	今の家が古いから	9.7
14	子どもや家族のため、家を持ちたいと思うから	9.0
15	セカンドハウスが欲しいから	8.9
16	子どもの教育環境が良い場所に住みたいから	8.1
17	人気の街に住みたいから	8.0
18	持ち家の方が自由に使えて気兼ねがないから	7.8
18	防犯上、安全な地域に住みたいから	7.8
20	子どもが独立し、夫婦二人が住むのに適したところに住みたいから	6.3
21	同居家族が増える(増えた)から	5.1
22	緑が多い場所に住みたいから	4.8
23	ペットと一緒に住みたい・ペットを飼いたいから	3.7
24	結婚により、住まいを持ちたいと思ったから	3.6
25	現在住んでいる地域の環境が変わって嫌いになったから	3.2
26	社宅・寮を出る必要があるから	2.7
27	親の近くに住むことが必要になったから	2.2
28	土地・住宅価格が上昇し始めたから	2.1
28	持ち家の方が社会的信頼を得られるから	2.1
30	リゾート地に住みたいと思っているから	1.9
31	土地・住宅価格が安くなり、買い時だと思ったから	1.7
32	親から離れたところに住みたくなった、親から独立したから	1.3
	その他:	5.3

【前回調査(2019年2月発表)】

回答 2,866人

順位		(%)
1	資産を持ちたい・資産として有利だと思ったから	21.3
2	もっと広い住まいに住みたいから	18.1
3	もっと交通の便の良いところに住みたいから	17.9
4	老後の安心のため、住まいを持ちたいと思うから	16.6
5	通勤に便利な場所に住みたいから	16.3
6	都心に住みたいから	15.8
7	賃貸より持ち家の方が、金銭的に得だと思うから	13.8
8	現在は金利が低く、買い時だと思うから	13.5
9	家の設備が古くなってきたから	13.4
10	魅力的な物件や物件広告を見たから	12.0
11	免震構造のような耐震性の高いところに住みたいから	11.5
12	今の家が古いから	11.3
13	持ち家の方が住まいの質が良いと思うから	10.9
14	子どもや家族のため、家を持ちたいと思うから	10.3
15	子どもの教育環境が良い場所に住みたいから	8.2
16	持ち家の方が自由に使えて気兼ねがないから	8.1
17	人気の街に住みたいから	7.9
18	セカンドハウスが欲しいから	7.8
19	防犯上、安全な地域に住みたいから	7.6
20	子どもが独立し、夫婦二人が住むのに適したところに住みたいから	7.2
21	同居家族が増える(増えた)から	6.1
22	緑が多い場所に住みたいから	5.2
23	ペットと一緒に住みたい・ペットを飼いたいから	4.3
24	結婚により、住まいを持ちたいと思ったから	3.7
25	社宅・寮を出る必要があるから	3.4
26	現在住んでいる地域の環境が変わって嫌いになったから	3.0
27	土地・住宅価格が上昇し始めたから	2.7
28	親の近くに住むことが必要になったから	2.4
29	持ち家の方が社会的信頼を得られるから	2.3
30	土地・住宅価格が安くなり、買い時だと思ったから	2.0
31	リゾート地に住みたいと思っているから	1.7
32	親から離れたところに住みたくなった、親から独立したから	0.8
	その他:	4.5

メジャーセブンのマンショントレンド調査 Vol.31

2. 理想とするマンションのタイプは、前回に引き続き、「信頼できる不動産会社が分譲」「信頼できる建設会社が施工」「管理会社が信頼できる」がトップ3。

上位9位までが前回と同じ順位となる。

「理想とするマンションのタイプ」について尋ねたところ、前回調査(2019年2月発表)と同様、「信頼できる不動産会社が分譲するマンション」58.9%、「信頼できる建設会社が施工するマンション」57.0%、「管理会社が信頼できるマンション」51.7%がトップ3に挙げられました。この「“不動産会社”、“建設会社”、“管理会社”の“信頼性”」は、時間の経過に関わらず「理想とするマンションのタイプ」として、常に重視されるポイントであることがうかがえる結果となっています。

また、4位の「都心部に立地するマンション」から9位の「設計やサービス面がホテルライクなマンション」までもが前回調査と同じ順位になっており、「理想とするマンションのタイプ」はある程度確立されている印象がうかがえます。

＜理想とするマンションのタイプ＞

【今回調査(2020年2月発表)】

回答 2,230人

順位		(%)
1	信頼できる不動産会社が分譲するマンション	58.9
2	信頼できる建設会社が施工するマンション	57.0
3	管理会社が信頼できるマンション	51.7
4	都心部に立地するマンション	46.6
5	周辺環境が自然に恵まれたマンション	40.6
6	投資性の高いマンション	34.5
7	間取りの可変性があるマンション (間取りをある程度自由に変更できるマンション)	31.6
8	低層マンション	29.7
9	設計やサービス面がホテルライクなマンション	25.4
10	小規模戸数のマンション	21.3
11	ファミリー向けマンション	20.8
12	大規模戸数のマンション	19.7
12	高層マンション、タワーマンション	19.7
14	再開発している地区のマンション	18.3
14	建築家やデザイナーの設計による デザイナーズマンション	18.3
16	シングル・DINKS(共働き子供なし)向けマンション	12.2
17	セカンドハウス型マンション	9.3
	その他	2.2

【前回調査(2019年2月発表)】

回答 2,866人

順位		(%)
1	信頼できる不動産会社が分譲するマンション	60.8
2	信頼できる建設会社が施工するマンション	59.6
3	管理会社が信頼できるマンション	53.3
4	都心部に立地するマンション	49.5
5	周辺環境が自然に恵まれたマンション	45.7
6	投資性の高いマンション	35.9
7	間取りの可変性があるマンション (間取りをある程度自由に変更できるマンション)	34.3
8	低層マンション	31.6
9	設計やサービス面がホテルライクなマンション	30.8
10	ファミリー向けマンション	23.5
11	小規模戸数のマンション	22.6
12	高層マンション、タワーマンション	22.4
13	大規模戸数のマンション	21.7
14	建築家やデザイナーの設計による デザイナーズマンション	21.0
15	再開発している地区のマンション	20.3
16	シングル・DINKS(共働き子供なし)向けマンション	12.2
17	セカンドハウス型マンション	10.1
	その他	3.8

メジャーセブンのマンショントレンド調査 Vol.31

3. マンション購入時に「こだわりたいポイント」の中でも、“どうしても妥協できないポイント”は「駅から近い」「日照・採光が良い」「耐震性が高い」「災害に強い」などが上位。
「日照・採光が良い」「耐震性が高い」「災害に強い」「バリアフリー対応」「シックハウス症候群対策」「ペット可」などで、こだわりたいポイントより妥協できないポイントで順位が上昇。

マンションを購入する際に「お金をかけてでもこだわりたいポイント」を尋ねたところ、「駅から近いこと」が61.0%で最も高く、以下、「日常の買い物が便利なこと」「住みやすい間取りであること」「セキュリティが充実していること」「日照や採光が良いこと」が50%前後で続く結果となりました。

続いて「お金をかけてでもこだわりたいポイント」の中でも“どうしても妥協できないポイント”を訪ねたところ、「駅から近い」「日照や採光が良い」「免震構造など、耐震性が高い」「災害に強い」などが挙げられました。

また、「日照や採光が良い」「免震構造など、耐震性が高い」「災害に強い」「バリアフリー対応がされている」「シックハウス症候群対策がされている」「ペットを飼える」などで「お金をかけてでもこだわりたいポイント」より“どうしても妥協できないポイント”の方が順位が高くなっており、これらについても、どうしても外せない重要なポイントと考える人の多さがうかがえる結果となっています。

お金をかけてでもこだわりたいポイント

「お金をかけてでもこだわりたいポイント」の中でも
“どうしても妥協できないポイント”

回答 2,230人

順位		(%)
1	駅から近いこと	61.0
2	日常の買い物が便利なこと	50.8
3	住みやすい間取りであること	50.3
4	セキュリティが充実していること	48.6
5	日照や採光が良いこと	48.1
6	資産価値の高いエリアであること	47.2
7	免震構造など、耐震性が高いこと	47.0
8	信頼できる不動産会社が分譲していること	46.7
9	信頼できる建設会社が施工していること	46.4
10	信頼できる管理会社であること	45.7
10	災害(台風、水害など)に強いこと	45.7
12	収納スペースが充実していること	44.1
13	住居の専有面積が十分であること	37.5
14	通勤時間が短いこと	33.5
15	周囲が静かなこと	32.2
16	災害時の対策・防災設備の配備がされていること	30.0
17	眺望が良いこと	26.7
18	キッチン設備が充実していること	25.6
19	マンションの敷地内に駐車場が確保できること	23.6
20	マンション規模(総戸数)が望む規模であること	22.2
21	マンションの近くに公園などの緑豊かな環境があること	22.1
22	浴室設備が充実していること	21.7
23	バリアフリー(段差や仕切りをなくす)対応がされていること	21.0
24	魔法瓶浴槽や節水型トイレなどの省エネ設備を採用していること	19.5
25	マンションの外観が気に入ったものであること	18.4
26	インテリアの色合い、素材感等のテイストが気に入ったものであること	16.7
27	間取りの自由がきくこと	16.4
28	人気の街、話題の街であること	15.2
28	シックハウス症候群対策がされていること	15.2
30	ペットを飼えること	13.4

順位		(%)
1	駅から近いこと	40.0
2	日照や採光が良いこと	28.2
3	免震構造など、耐震性が高いこと	27.1
4	災害(台風、水害など)に強いこと	26.2
5	資産価値の高いエリアであること	25.8
6	日常の買い物が便利なこと	25.4
7	信頼できる不動産会社が分譲していること	24.9
8	セキュリティが充実していること	24.6
8	信頼できる建設会社が施工していること	24.6
10	信頼できる管理会社であること	22.1
11	住みやすい間取りであること	20.9
12	収納スペースが充実していること	19.2
13	住居の専有面積が十分であること	18.0
14	通勤時間が短いこと	15.7
15	周囲が静かなこと	13.2
15	災害時の対策・防災設備の配備がされていること	13.2
17	マンションの敷地内に駐車場が確保できること	11.8
18	眺望が良いこと	11.3
19	キッチン設備が充実していること	9.0
20	バリアフリー(段差や仕切りをなくす)対応がされていること	8.2
21	ペットを飼えること	7.7
22	浴室設備が充実していること	6.6
23	マンション規模(総戸数)が望む規模であること	5.9
23	シックハウス症候群対策がされていること	5.9
25	マンションの外観が気に入ったものであること	5.6
26	マンションの近くに公園などの緑豊かな環境があること	5.5
27	インテリアの色合い、素材感等のテイストが気に入ったものであること	5.3
28	人気の街、話題の街であること	5.2
29	魔法瓶浴槽や節水型トイレなどの省エネ設備を採用していること	5.0
29	間取りの自由がきくこと	5.0

※上位30位までを抜粋

メジャーセブンのマンショントレンド調査 Vol.31

4. “どうしても妥協できないポイント”で5年前より大きく上昇したのは 「災害(台風、水害など)に強いこと」「資産価値の高いエリアであること」があがる。

「お金をかけてでもこだわりたいポイント」の中でも“どうしても妥協できないポイント”について、5年前に実施した調査(第22回調査 2015年2月発表)の結果と比較すると、トップ3は、今回調査・5年前の調査ともに「駅から近いこと」「日照や採光が良いこと」「免震構造など、耐震性が高いこと」があがり、順位に変動は見られませんでした。5年前調査より今回調査の方が順位が上昇した項目としては、「災害(台風、水害など)に強いこと」「資産価値の高いエリアであること」「災害時の対策・防災設備の配備がされていること」「マンション規模(総戸数)が望む規模であること」「マンションの外観が気に入ったものであること」「人気の街、話題の街であること」があがり、とりわけ「災害(台風、水害など)に強いこと」は12位→4位、「資産価値の高いエリアであること」は11位→5位と順位が大きく上昇する結果となりました。近年の気候の変化や台風・大雨などによる災害が今回の結果に大きな影響を及ぼしているものと考えられます。

＜お金をかけてでもこだわりたいポイントの中でも“どうしても妥協できない”ポイント 5年前との比較＞

【今回調査(2020年2月発表)】

順位	回答 2,230人
	(%)
1 駅から近いこと	40.0
2 日照や採光が良いこと	28.2
3 免震構造など、耐震性が高いこと	27.1
4 災害(台風、水害など)に強いこと	26.2
5 資産価値の高いエリアであること	25.8
6 日常の買い物が便利なこと	25.4
7 信頼できる不動産会社が分譲していること	24.9
8 セキュリティが充実していること	24.6
8 信頼できる建設会社が施工していること	24.6
10 信頼できる管理会社であること	22.1
11 住みやすい間取りであること	20.9
12 収納スペースが充実していること	19.2
13 住居の専有面積が十分であること	18.0
14 通勤時間が短いこと	15.7
15 周囲が静かなこと	13.2
15 災害時の対策・防災設備の配備がされていること	13.2
17 マンションの敷地内に駐車場が確保できること	11.8
18 眺望が良いこと	11.3
19 キッチン設備が充実していること	9.0
20 バリアフリー(段差や仕切りをなくす)対応がされていること	8.2
21 ペットを飼えること	7.7
22 浴室設備が充実していること	6.6
23 マンション規模(総戸数)が望む規模であること	5.9
23 シックハウス症候群対策がされていること	5.9
25 マンションの外観が気に入ったものであること	5.6
26 マンションの近くに公園などの緑豊かな環境があること	5.5
27 インテリアの色合い、素材感等のテイストが気に入ったものであること	5.3
28 人気の街、話題の街であること	5.2
29 魔法瓶浴槽や節水型トイレなどの省エネ設備を採用していること	5.0
29 間取りの自由がきくこと	5.0

※上位30位までを抜粋

【5年前の調査(第22回調査 2015年2月発表)】

順位	回答 4,832人
	(%)
1 駅から近いこと	36.0
2 日照や採光が良いこと	32.0
3 免震構造など、耐震性が高いこと	27.8
4 信頼できる建設会社が施工していること	25.5
5 日常の買い物が便利なこと	23.5
6 信頼できる不動産会社が分譲していること	23.1
7 セキュリティが充実していること	23.0
8 住みやすい間取りであること	22.3
9 信頼できる管理会社であること	20.8
10 収納スペースが充実していること	20.3
11 資産価値の高いエリアであること	20.0
12 災害(台風、水害など)に強いこと	19.0
13 住居の専有面積が十分であること	18.8
14 通勤時間が短いこと	17.3
15 周囲が静かなこと	15.1
16 マンションの敷地内に駐車場が確保できること	12.0
17 眺望が良いこと	11.6
18 災害時の対策・防災設備の配備がされていること	10.6
19 キッチン設備が充実していること	10.2
20 ペットを飼えること	7.7
21 バリアフリー(段差や仕切りをなくす)対応がされていること	7.6
22 浴室設備が充実していること	7.2
22 シックハウス症候群対策がされていること	7.2
24 マンションの近くに公園などの緑豊かな環境があること	6.8
25 インテリアの色合い、素材感等のテイストが気に入ったものであること	5.7
26 マンション規模(総戸数)が望む規模であること	5.3
27 間取りの自由がきくこと	5.2
28 魔法瓶浴槽や節水型トイレなどの省エネ設備を採用していること	5.0
29 マンションの外観が気に入ったものであること	4.6
30 人気の街、話題の街であること	4.3

メジャーセブンのマンショントレンド調査 Vol.31

《「MAJOR7」各社の供給戸数》

※2019年全国供給戸数70,660戸

会 社 名	マンション供給戸数	シェア
住友不動産	5,690戸	8.05%
大京	1,296戸	1.83%
東急不動産	1,812戸	2.56%
東京建物	929戸	1.31%
野村不動産	3,941戸	5.58%
三井不動産レジデンシャル	2,365戸	3.35%
三菱地所レジデンス	3,365戸	4.76%
7社合計	19,398戸	27.45%

※（株）不動産経済研究所調べによる2019年全国マンション供給実績

《「MAJOR7」の基本理念・活動内容》

私たちMAJOR7ではお客さまがご満足いくようなマンション選びができるように、お客さま本位の情報発信を行うことを基本理念として活動していきます。

この基本理念に基づき、Web上を通じて次のようなマンション情報等の発信をおこなっています。

- （1）お客さまがご自分にあった住まい選びができるように、私たちが住まいのあり方について考えていることや、不動産情報の適切な判断基準となりえる情報等をお客さまに提供していきます。
- （2）私たちのマンションづくりの豊富な経験とノウハウを生かし、お客さまのご要望をきめ細かく反映したマンションをご紹介します。
- （3）お客さまがご満足いく住まい選びができますように、私たちが発信する情報の質と量を生かして、最新かつ豊富な物件情報の提供を行います。また、私たちのノウハウを結集し、マンション選びの知識などのノウハウをご提案することにより顧客満足度の向上を目指します。

メジャーセブンのマンショントレンド調査 Vol.31

■「MAJOR7」構成会社の会社概要（五十音順）

◎住友不動産株式会社の概要

- ・ 本社所在地：東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル
- ・ 代表者：代表取締役社長 仁島 浩順
- ・ 設立：1949年12月
- ・ 資本金：1,228億535万円（2019年3月31日現在）
- ・ 従業員数：13,238名（連結：2019年3月31日現在）
- ・ 売上高：10,132億2,900万円（連結：2019年3月期）
- ・ 営業内容：ビルの開発・賃貸、マンション・戸建住宅の開発・分譲、宅地の造成・分譲、海外不動産の開発・分譲・賃貸、建築土木工事の請負・設計・監理、不動産の売買・仲介・鑑定 他

◎株式会社大京の概要

- ・ 本社所在地：東京都渋谷区千駄ヶ谷4-24-13 千駄ヶ谷第21大京ビル
- ・ 代表者：代表取締役社長 小島 一雄
- ・ 設立：1964年12月
- ・ 資本金：411億7,100万円（2019年3月31日現在）
- ・ 従業員数：784名（単体：2019年3月31日現在）
- ・ 売上高：662億7,900万円（単体：2019年3月期）
- ・ 営業内容：不動産開発、不動産販売、都市開発

◎東急不動産株式会社の概要

- ・ 本社所在地：東京都渋谷区道玄坂一丁目21番1号 渋谷ソラスタ
- ・ 代表者：代表取締役社長 大隈 郁仁
- ・ 設立：1953年12月
- ・ 資本金：575億5,169万円（2019年4月1日現在）
- ・ 従業員数：762名（2019年4月1日現在）
- ・ 売上高：2,649億円（単体：2019年3月期）
- ・ 営業内容：都市事業（オフィス、商業施設）、住宅事業、ウェルネス事業（リゾート、シニア）、海外事業

◎東京建物株式会社の概要

- ・ 本社所在地：東京都中央区八重洲1-9-9 東京建物本社ビル
- ・ 代表者：代表取締役社長執行役員 野村 均
- ・ 設立：1896年10月
- ・ 資本金：924億円（2019年12月31日現在）
- ・ 従業員数：5,396名（連結：2019年12月31日現在）
- ・ 売上高：3,230億円（連結：2019年12月期）
- ・ 営業内容：オフィスビル・商業施設等の開発、賃貸及び管理、マンション等の開発・分譲など

メジャーセブンのマンショントレンド調査 Vol.31

◎野村不動産株式会社の概要

- ・ 本社所在地：東京都新宿区西新宿1-26-2
- ・ 代 表 者：代表取締役社長 宮嶋 誠一
- ・ 設 立：1957年4月
- ・ 資 本 金：20億円（2019年4月1日現在）
- ・ 従 業 員 数：1,976名（2019年4月1日現在）
- ・ 売 上 高：4,861億865万円（2019年3月期）
- ・ 営 業 内 容：マンション分譲事業、戸建分譲事業、法人仲介事業、投資・開発事業、ビルディング事業、建築・設計事業、海外事業、ホテル事業、資産運用事業など

◎三井不動産レジデンシャル株式会社の概要

- ・ 本社所在地：東京都中央区日本橋室町3-2-1
- ・ 代 表 者：代表取締役社長 藤林 清隆
- ・ 設 立：2005年12月
- ・ 資 本 金：400億円（2019年4月1日現在）
- ・ 従 業 員 数：1,832名（2019年4月1日現在）
- ・ 売 上 高：3,194億円（単体：2019年3月期）
- ・ 営 業 内 容：住宅分譲事業（マンション、戸建）、賃貸住宅事業、海外事業、販売受託事業、シニアレジデンス事業、市街地再開発事業・マンション建替え事業

◎三菱地所レジデンス株式会社の概要

- ・ 本社所在地：東京都千代田区大手町1-9-2 大手町フィナンシャルシティ グランキューブ
- ・ 代 表 者：代表取締役 取締役社長 脇 英美
- ・ 設 立：1957年6月
- ・ 資 本 金：150億円（2019年3月31日現在）
- ・ 従 業 員 数：1,068名（2019年3月31日現在）
- ・ 売 上 高：3,022億円（単体：2019年3月期）
- ・ 営 業 内 容：不動産の開発、不動産の販売、不動産の賃貸借